

平成25年6月7日

アジア・アメリカ異文化交流短期受入プログラム2013について

平成25年5月27日（月）から6月28日（金）までの間、アメリカ・コロラド州立大学（CSU）から7名の学生と、Masako Beecken 講師が香川大学教育学部に来学しています。CSU 学生は、日本語、日本文化等の授業を学習するとともに、香川県、高松市、附属学校の訪問、うちわ体験、四国村探索などのフィールドワーク、本学学生や地元高校生との交流など多彩な行事に参加する予定です。

このプログラムは、平成25年2月に締結された学術交流協定実施細則に基づいて行われており、参加大学学生が、協定校で実施する語学・文化教育を受講並びにその地域で実習を行う受け入れ事業です。これらの活動を通して、学生の国際理解の促進や語学力・資質向上をはかり、将来、日本における文化交流を担う人材を育成することを目的としています。

CSU 学生は、国籍も多様で主専攻では様々なコースに在籍していますが、副専攻として日本語を履修しています。5月27日(月)には、山神教育学部長への表敬訪問、板野インターナショナルオフィス長への表敬訪問、本学学生・高松第一高等学校生徒との対面式を、6月4日（火）には、香川県知事への表敬訪問を実施しました。

また、初日から日本語の学習を開始し、Masako(Mako)Beecken(マサコ(マコ)・ベーケン)先生、インターナショナルオフィス教員（国際交流基礎演習Ⅰ・Ⅱ）、教育学部教員（日本研究）が担当する授業を合計6単位履修する予定です。その他、教育学部の公開授業への参加や部活動体験も行っています。

今後は、高松市長への表敬訪問、アイパルの活動参加などの行事を実施し、最終日の6月28日（金）には成果報告会やプログラム修了書授与式などを予定しています。

このプログラムへの参加を通して、両大学の学生に香川、日本に対して興味・関心をもってもらうこと、伝統文化や自然・施設見学を行うことによってより日本に対する興味・理解を深めてもらうことのほか、本プログラムが、本学の学生の国際理解教育、将来教員になるための資質向上、香川大学学生のみならず、附属学園・地元の高等学校との連携による交流活動に資することを期待しています。



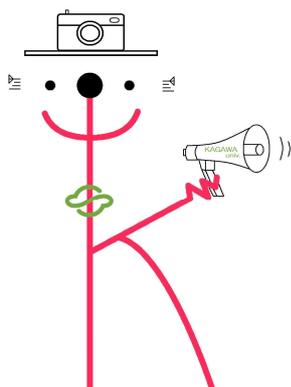
学部長表敬訪問



うちわ体験



附属坂出中学校との交流



➤ 問合せ先

〒760-8522 高松市幸町1-1 香川大学教育学部

(プログラム香川大学責任者) 香川大学教育学部教授 高木由美子

TEL 087-832-1461

(教育学部事務担当) 香川大学教育学部学務係 井上早江子

TEL 087-832-1404